

Swal

I. 認識配列

5'.....ATTT▼AAAT.....3'
 3'.....TAAA▲TTTA.....5'

II. 保存

-20℃

III. 活性定義

1 unit は、反応混合液 50 µl 中、1 µg の M13mp19 DNA を 25℃、60 分間で完全に分解する酵素活性とする。

IV. 起源

Staphylococcus warneri

V. 形状

400 mM NaCl
 10 mM Tris-HCl (pH 7.4)
 0.1 mM EDTA
 1 mM DTT
 0.2 mg/ml BSA
 50% Glycerol

VI. 酵素反応条件

・反応温度 : 25℃
 ・バッファー : H
 +BSA

{	100 mM NaCl
	50 mM Tris-HCl (pH 7.9)
	10 mM MgCl ₂
	1 mM DTT
	0.1 mg/ml BSA

VII. 添付品

・10 x H Buffer (赤色ラベル)
 ・1 mg/ml BSA Solution
 添付反応バッファーは、酵素反応条件の 10 倍濃度です。
 制限酵素のチューブのラベルと同色のラベルのものをご使用ください。

VIII. 反応バッファー別相対活性

Buffer	L	M	H	A	B
相対活性 (%)	<5	25	75	5	75

IX. 純度

本酵素 20 units と 1 µg の M13mp19 DNA を 25℃ で 5 時間反応させた後、アガロースゲル電気泳動を行った結果、切断パターンに変化は認められない。

X. 結合試験

本酵素で完全に切断された M13mp19 DNA フラグメントの 75% が T4 DNA リガーゼで結合され、そのうち 75% が本酵素で再切断される。

XI. 備考

- ・ 酵素反応の際には反応バッファーの他に別添付の BSA (1 mg/ml) を反応容量の 1/10 量添加する。
- ・ 反応バッファー別相対活性表は BSA を反応系に加えていない。H buffer に BSA を添加した場合の相対活性は 100% である。
- ・ 制限酵素のスター活性やメチル化の影響など、さらに詳しい情報についてはニッポンジーンのホームページをご参照ください。

本品は、試薬(試験研究用)として販売しているものです。
 医薬品の用途には使用しないでください。